



◆避難所では人員点検、健康状態の確認が迅速に行われました。



炊き出し訓練



防災講習会



◆産山波野分駐所と県砂防ボランティア協会から緊急避難用具の作り方や土砂災害の映像等による防災講習会も行われ、様々な防災知識を学習し、その後、地域婦人会と女性職員による炊き出しをいただきました。

6月22日(月)、産山小中学校1～9年生の子ども達も大雨による洪水を想定した避難訓練を実施しました。校内放送の避難指示を受けた後、静かにかつ迅速に校舎内メディアセンターに各学年とも避難を行いました。避難後、役場の防災担当の井 隆博さんより土砂災害に関するお話があり、「防災ってなんだろう?」という問いをきっかけに産山村の地形の特徴や災害を未然に防ぐには?起きてしまったらどのように対応するかなど自分でできることを考え、過去に村内で起きた土砂災害の写真等を使ってその怖さをわかりやすく説明していただきました。講演後、児童生徒を代表して6年生の進香菜美さんが「水の大切さと怖さを知り、自分の身を守るためこれからしっかり防災について考え行動していきたい」とお礼の言葉を述べました。

### 土砂災害避難訓練



実際に災害が発生すると、すぐに助けが来るとは限りません。自分や家族を守ることができるのは自分自身、そして地域のみなさんです。日常的に危険箇所の点検や防災情報の収集など「日常の備え」を万全にし、いざというときは「早めの避難」を心がけましょう。

# 防災

## 土砂災害に対する全国統一防災訓練実施

6月7日、村内中山鹿・家壁地区周辺を対象に「土砂災害に対する全国統一防災訓練」が行われ、災害時住民避難誘導や避難所設置の運用訓練等の実戦訓練が繰り広げられました。

この訓練は、6月の土砂災害防止月間にあわせて全国的に実施されたもので、このような土砂災害の大規模訓練は産山村で初めての試みとなりました。この訓練により、土砂災害に対する対応力の向上と関係機関相互の連携強化を図るとともに、住民のみなさんの理解を目的に実施されました。この日は、中山鹿・家壁の住民のみなさんをはじめ、消防団や役場、警察、県の防災関係機関職員など約280名が参加しました。



災害対策本部の設置



消防団による住民避難訓練

1. 今回の訓練は、大雨洪水警報の発令・土砂災害警戒情報の発表に伴い、土砂災害が発生するまでを想定して行われました
2. 災害対策本部が設置され、統率をとりました。これを受け、訓練では災害状況や避難情報の伝達、防災無線で避難勧告等も行われ参加したみなさんも真剣に取り組んでいただきました。

### 《確認してください》

- ◆防災行政無線戸別受信機の調子はいかがですか?
- ◆防災行政無線戸別受信機の電池は切れていませんか?